

秋田県南地区の企業の皆様へ

ものづくり企業 ステップアップ研修

不良を作らない・流さない 工程管理の実際

【研修のねらい】

品質保証・品質管理・品質検査とは何かから始め、モノづくりのプロセスにしたがって品質保証がどのように進められていくか解説し、工程管理に関しては3つの演習を含めて実際に理解してもらう。また、不良を作らない・流さないということに関して、世の中にある考え方や手法、ルーツを説明し、合わせて心構えや名言集も紹介する。
最後に、受講生が実際に抱えている問題について、その場で相談に応じる。

【開催日時】 平成28年9月23日(金)
10:00~16:30

【会場】 横手市交流センターY²ぴらざ 3階 研修室3
横手市駅前町1番21号 Tel: 0182-32-2418

【定員】 20名程度 応募者多数の場合は、受講者および
受講人数などを調整させていただくことがあります。

【講師】 日本能率協会主催の「生産技術研究会」
「生産技術研究会」の運営委員、
中部品質管理協会主催の
TQM「生産における品質マネジメント」等を長く担当。

原嶋 茂氏

【秋田県南工業振興会】

裏面が、プログラム等になっております。

プログラム

<p>《10:00~12:00》</p> <p>1. 概論 モノづくりとは何か (顧客の信頼を失うと企業の存続が危うくなる) 品質保証・品質管理・品質管理の違い 品質のデンソーはこうして生まれた デミング賞、PM 優秀事業場賞、自動車部品は人命に関わる モノづくり品質の競争力、ブランド</p> <p>2. 源流における品質の作り込み 製品企画、原価企画、製品構想段階にすべきこと 品質機能展開 設計 FTA 展開から設計 FMEA へ コンカレント・エンジニアリング(総智・総力・協働)の重要性</p> <p>3. 生産準備段階の品質保証 初期流動管理のしくみ 工程 FMEA、QA ネットワーク 仕入先(前工程)と納入先(後工程)の現地認識の重要性 重要性 工程能力調査と Cp、Cpk の意味と使い方 QC 七つ道具の使い方 管理図の使い方</p>	<p>《13:00~15:00》</p> <p>4. 工程管理の実際 不良対策活動は QC ストーリーで 変化点管理(5S や標準化は変化点を見える化するため) 演習 1 5M1E の視点で特性要因図作成 QC 工程図の考え方(工程では何を管理するか) 講習 2 穴埋め問題による作成 QA ネットワーク(品質保証で抜けない工程作りとは) 演習 3 重要改善項目の発見 抜き取り検査の考え方</p>
<p>12:00~13:00 お昼休み</p>	<p>15:00~15:10 休憩</p>
	<p>《15:10~16:10》</p> <p>5. 不良を作らない・流さない 不良にはどのようなものがあるか ヒューマンエラー排除のためのポカよけと自動化 異物・バリ対策の考え方 トヨタ生産方式における品質保証の考え方</p> <p>6. 品質保証に関するキーワード、心構えや名言集 3 現主義から 5 ゲン主義へ PL(製造物責任法)とは シックスシグマとは トレーサビリティとは 心構えや名言集ベスト 10 例:「原理的にあり得ることは必ず起こると 思え(量産の怖さ)」 それでも問題が起きてしまったら・・・</p>
	<p>《16:10~16:30》</p> <p>7. その場での質疑応答 受講生が実際に抱えている問題の相談に応じます。</p>

講師のご紹介

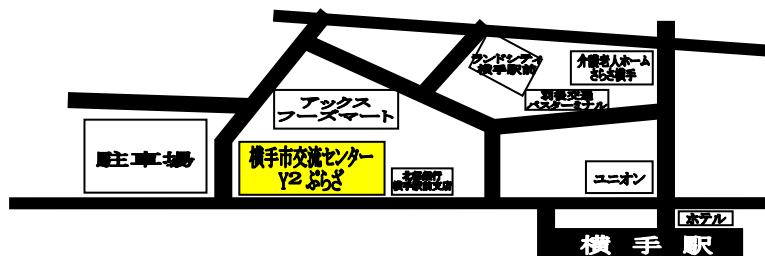
原嶋 茂 氏 (はらしま しげる)



愛知工業大学大学院 非常勤講師、日本大学工学部 SSL 客員研究員。
日本能率協会主催の「生産技術研究部会」「生産技術マネジメント研究会」の運営委員、
中部品質管理協会主催の TQA 講座「生産における品質マネジメント」等を長く担当。
【略歴】
1953 年 生まれ
1973 年 秋田高校卒業。
1980 年 東北大学大学院機械工学専攻修了。
日本電装(株)(現・(株)デンソー)入社。以後、生産技術部で学会賞を受賞した多くの
デンソーの戦略的なコンカレントエンジニア活動である「次期型製品研究会」や
非自動車分野の「新事業開発」プロジェクトを数多くリード。
2010 年 愛知工業大学大学院卒業。博士(経営情報科学)。CPE-ME。
2011 年 日本経営工学会論文賞。
2012 年 日本機械学会生産システム部門学術業績賞。
2013 年 名古屋商科大学大学院卒業。MBA。ケースアワード 2013。
2014 年 デンソーを定年退社。日本能率協会発行「工場長の教材」(2014.5)共著。

会 場

横手市交流センター Y²(わいわい) ぷらざ
(横手市駅前町1番21号 TEL: 0182-32-2418)



受 講 料

■会員企業負担金 無 料 ■会員以外企業負担金 一人 15,000円

※会員以外企業の負担金は、一人 15,000 円です。但し、当会に加入される場合、受講料は無料となります。加入については、秋田県南工業振興会のホームページをご覧なるかまたは、事務局までお問い合わせください。

※負担金につきましては、秋田県南工業振興会より請求書を送付いたします。送付後、納入くださいますようお願いいたします。

申 込 方 法

別添の受講申込票にご記入の上、FAX等にて秋田県南工業振興会事務局まで、お早目にお申込みください。

(申込期限：9月15日(木)まで)

原則として、1講座につき1社3名までとさせていただきますが、参加者多数の場合、2名とさせていただきます。

お問合せ先

秋田県南工業振興会事務局

〒013-8502

横手市旭川一丁目3番41号

横手市商工観光部 商工労働課内

電話：0182-36-2384 FAX：0182-32-4021

裏面が、受講申込書になっております。

秋田県南工業振興会 事務局宛

FAX 0182-32-4021

※9月15日(木)までお申し込みくださいますようお願いいたします。

【当振興会ホームページの申込フォーラムからでもできます。】

※原則として、1社3名までとさせていただきますが、参加者多数の場合、
2名とさせていただきます場合があります。

ものづくり企業 ステップアップ研修受講申込書

平成28年 月 日

貴社(団体)名：		
所在地：〒	TEL:	
	FAX:	
部署・職名	(ふりがな) 参加者氏名	年齢

【申込担当者】 部署 _____

氏名 _____